

県政 なんでも相談

質問
 漁業経営を助成するための資金制度があるそうですが、どんな資格がいるのか、どれくらい額までお借りできるのか、手続、貸付条件などについてお知らせください。

お答え
 水産業の振興をはかるうえで、金融の果たす役割は、大きいものがあります。お尋ねの水産に対する金融としては、農林漁業金融公庫をはじめ政府関係の金融機関によるもの、系統機関によるもの、さらには一般金融機関によるものがあります。そこで、このうちから漁業近代化資金制度について説明してみよう。

この制度は、漁業者などの資本装備の高度化をはかり、経営の近代化を推進するために必要な長期低利の資金を一層円滑に融通するため、漁業協同組合などの

系統金融機関から漁業者などに貸し付けられる施設資金について、国および県が利子補給の助成をしようとするもので、概要は次のようになっていきます。

◇借り受けるための資格

- (1) 漁業を営む個人（漁業従事者および法人は含まない。）
- (2) 漁業生産組合
- (3) 漁業を営む法人（水産業協同組合を除く。）であって、その常時使用する従事者の数が三百人以下である

漁業近代化資金

を借りるには

- (1) かり、かつ、その使用する漁船の合計総トン数が千トン（業種別漁業協同組合の組合員にあつては、二千トン）以下のもの。
- (2) 水産加工を営む者（従事者および法人は含まない。）
- (3) 水産加工業を営む法人であつて、その常時使用する従事者の数が四十人以下であるもの。
- (4) 漁業協同組合
- (5) 漁業協同組合連合会

- (1) 貸付事業を行なう漁業協同組合
 - (2) 農林中央金庫
- ◇貸付の条件**
 資金の種類、貸付利率、償還期限および居置期間は、次表のとおり。
- ◇貸付の限度額**
- (1) 個人施設の場合
 - (ア) 漁船資金 一千万円（二十トン以下）
 - (イ) その他 二百万円
 - (2) 共同利用施設の場合
 - (ア) 養殖資金 五百万円
 - (イ) その他 一億円
- 上の場合には四千万円

漁業近代化資金貸付条件

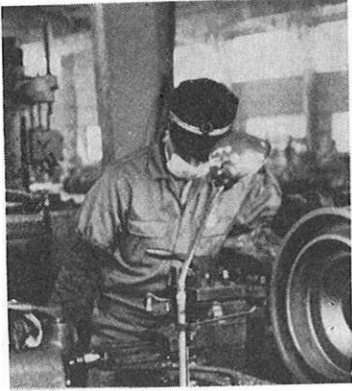
資金の種類	貸付利率	償還期限	据置期間	
第1号資金	総トン数20トン未満漁船	年6.0%以内	12年以内 (木船6年以内 機器のみ5年以内)	2年以内
	総トン数20トン以上漁船	年7.0%以内	"	"
第2号資金 (漁船漁具保管修理施設等)	年6.0%以内 (漁協等年7.0%以内)	12年以内 (漁協等15年以内)	3年以内	
第3号資金 (漁場改良造成用機具等)	年6.0%以内 (漁協等年7.0%以内)	7年以内 (漁協等10年以内)	2年以内	
第4号資金 (漁具、養殖施設等)	年6.0%以内	5年以内	2年以内	
第5号資金 (有線放送施設等)	年7.0%以内	診療施設20年以内 その他15年以内	3年以内	
第6号資金 (漁場改良造成施設等)	年6.0%以内 (漁協等年7.0%以内)	12年以内 (漁協等15年以内)	2年以内 (漁協等3年以内)	

県漁業協同組合連合会、地元漁業協同組合にお尋ねください。
 (水産課)

★ 県政の話題

あなたを技術者に

— 農業者転職訓練とは —



「このたび県では、農家の人たちの中で、農業を離れて他の職業につきたいと、希望される方々のために、新しい職業に必要な技術を身につけてもらおうというところで、特別な職業訓練を始めることになりました。そこで今日は最初のことになり、農業側が打ち出されたことについて、農業側がそれなりの事情もあるのだと存じますが、その辺のことから、浜さんからご説明いただきますようか。

浜 現在の農業を、所得の面で他の産業とくらべてみますと、まだかなりの格差があることは、皆さんご承知のとおりです。しかも、米の生産過剰に伴う減反政策、米価の据えおき、などで所得格差をつめることは、ますます困難になってきています。

それらに農産物の自由化とか、価格安定というような面でも、いろいろむづかしい問題があつて、一体これから、日本の農業はどうなるのか、といった不安の声もきかれるようです。

「そういうところから、総合農政というところから取り上げられたわけですね。」

(出席者)

- 県農業協同組合参事 浜 国 雄
 市鉄工業協同組合理事長 三 岡 則 次
 県職業訓練課長 大 石 正 己
 (きき手) 熊本放送アナウンサー

浜 そうですね。今までのように限られた面積の農地を分け合つて小規模な農業経営をしていたのでは、高度成長時代にも取り残されて、豊かな暮らしはできないわけですね。また自由競争で外国農業にも負けてしまっています。

農業経営だけで自立して行くためには、どうしても四ヘクタール以上の面積を、農業機械を駆使して、生産コストをうんと引き下げるような経営がやれるようにもって行かねばならぬわけですね。そうしますと、必然的に、現在の農業人口では多過ぎるということになります。一方、他産業の方では、間もなく深刻な労働力不足時代がやってくるだろうといわれております。

「そこで、国民経済的立場からしても、いわば日本農業の再編成が必要だといわけですね。」

浜 そうだと思つています。現に本県でも、農村からの出稼ぎ者は、年間一万三千人を越えておりますが、この数字は、もう農業だけでは暮らしが立てにくくなつてきていることを示していると思つています。また、どこかに出て行けば働く場所はあるということでもあるわけですね。

「こういう現実を踏まえて、私たちも、農家の人たちが、出稼ぎに行かなくても、自分の家から毎日通勤して、農外所得を稼いで、豊かな暮らしができるようにしなければならぬ、ということではないかと努力しているわけですね。」

「そうしますと、農家の人たちが工場勤めをして、だんだん給与もあがつて、それだけで暮らせるようになりますと、

自分の農地を手放したり、人に貸したりして、農業専攻で行きたいという人たちの経営面でも、次第に大きくなっていく、というわけですね。

浜 そのとおりです。しかも最近、本県にもたくさん、工場が進出して来て、県の工業化も急速に進もうとしております。さらには工場の地方分散ということも国の政策として取り上げられておりますので、これからは農外所得を稼ぐ場所も増加して参りますね。

「三岡さん、ただいま浜さんから、農業の現状、ないしは今後の方向といったことについて、お話しいただきましたが、皆さんの工場ではいかがですか、農業の方は奥さんにまかせてご主人は働きにおいでではないかと、というふうな方もいらっしゃるでしょう。」

三岡 私は、健軍飛行場のそばの鉄工団地の中に工場をもつていますが、あそこには十六社ありまして、おっしゃるとおり、農家の人たちが大分おいでになっております。玉名、山鹿、菊池など、かなり遠距離からも通つて来ておられます。大石 道路はよくなって来たし、皆さん単車や車をおもちだから、最近交通範囲が広がりましたね。

三岡 工場側で、マイクロボスを用意して、駅まで送り迎えするといったこともやっております。

「それでどうでしょうか、現在、熊本市中心に、農家の人たちが受け入れる職場はございますか。」

三岡 鉄工団地だけでも人手は不足して、おります。熊本市内はもちろんです、